

1. 指定管理者名		河川自然環境保全復元団体 リバーサイドヒーローズ						
2. 指定期間		平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日						
3. 業務の範囲		(1)施設の利用に関する業務①来館者の応対②イベント、講座や展示会を企画し、実施すること③イベント、講座の申し込み受付④小学校等の総合的な学習の時間における対応⑤生き物の飼育展示及び館内での自然体験業務⑤展示物・書籍等の管理⑥ビオトープの管理⑦水槽及び付属機器の保守管理 (2)公共機関及び関連団体、自然団体や市民団体との共同事業、事業活動サポート、河川整備事業に係る助言等のサポート、連絡調整会議への出席、講師派遣の協力等を行うこと。 (3)観察館の管理運営の支援的役割を担う委員会を設置すること。 (4)自然及び文化に関する情報の収集及び提供に関すること。						
4. 採点表								
評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
1 運営・利用 状況 (40点)	(1)利用状況 (10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 平均値比(●●%)=利用率(●●%)÷上記(1)。(2)又は(3)	105%以上 5点		
		②利用人数	10	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点 【得点について (1)①該当が無いため ②の配点の2倍とする】	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(●●%)=利用人数(延べ●●人)÷上記(2) 入館者数平均: 令和元年3,399人＋令和2年2,584人＋令和3年3,369人＋令和4年4,155人÷4＝3,376.8 平均値比: 令和5年4,623÷3,376.8×100＝136.9% (資料①)	105%以上 5点	10点	
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況 (仕様書内)(15点)	30	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点 【得点について (3)該当が無いため ②の配点の2倍とする】	仕様書に「年度を通じて36回以上のイベント、8回以上の講座及び10回以上の展示会を企画し、実施すること」とあるが、イベント件数43/50回(実施/企画)、講座は12/12件(実施/企画)、展示会は11/11回(実施/企画)であった。(資料②-1) 小中学校への総合的な学習の時間への支援は、新型コロナウイルス対応のため慎重に実施。河川体験の事前授業をおこなったり、河川体験も人数の多い学校では数回に分けて安全に行っている。(資料②-2) 幼稚園・保育園への支援は令和4年度と比較して増加している(市内5園、市外3園)。(資料②-3) 「国土交通省、岐阜県、多治見市などの公共機関及び関連団体に協力」する旨を仕様書に定めており、令和4年度と比較して、総合学習・行政・公共施設・市民団体のすべてにおいてサポート件数が増加している。(資料②-4)	仕様書以上 14点	仕様書のイベント回数を上回った。 イベント参加者合計は令和4年度を上回る結果となった。小学校等の総合学習への支援も多様化しており、河川体験を安全に実施するための事前授業を行ったり、時間の足りない時は先生にフォローしてもらえるように情報交換するなど細やかに対応した。市内の小学校は殆どの学校で依頼があり、総合学習への満足度は高い状況といえる。また、行政機関、公共施設、市民団体等への支援・調整役としての役割は大きい。	28点
	(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等の期待通り:11～9点、内容・事業数等の期待以下:8～7点、内容・事業数等が期待以下より劣る:6～3点、内容・事業数等が期待以下より劣る 2～0点			期待以上 15点		
2 施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況 (10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	仕様書に定められた以上に実施している。(資料③)	適正(普通) 2点	水槽のガラス・トイレなど目につきやすいところは意識して掃除するようにしている。 新型コロナウイルス感染防止対策のため、アルコール等による拭き掃除はこまめに実施。	10点
		②保守・点検		水槽については毎日餌やり時に点検。施設内外については、定期点検(月2回、年2回)を実施し、掃除のたびに目視でも確認をしている。ガスについては業者に保守点検を依頼。	適正(普通) 2点	適切に管理している。		
		③保安・警備		セキュリティ会社に夜間警備を委託。施設は複数人で確認をしている。施設外でイベントが開催されるときは必ず保安要員を残している。	適正(普通) 2点	適切に管理している。		
		④小規模修繕		なし	適正(普通) 2点	適切に管理している。		
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)		観察館の裏が生活道路になっており、地元の中学生等が通行するため、駐車や荷下ろしの際は気をつけている。	適正(普通) 2点	来館者だけでなく近隣住民にも配慮している。		
	(2)その他管理業務の実施状況 (15点)	①文書管理	15	市の文書管理システムに準拠。大事な書類は保存年数を決めている。	適正(普通) 2点	適切に管理している。	10点	
		②環境への配慮		公用車を運転する際はエコドライブに心がけ、物品を購入する際はできるだけ環境配慮した製品を購入し、イベント等では間伐材の利用を促している。館内の照明機器は全てLEDを使用。令和3年度より井戸水を併用している。	適正(普通) 2点	常時環境への配慮をしている。井戸水の併用により、増設した水槽・池の掃除等で大量に必要であった水道水の節約と夏季の高温の水道水の生き物へのダメージを回避できる。		
		③バリアフリー		館内はバリアフリー対応、多目的トイレあり。玄関前に視覚障がい者誘導ブロックを設置。館内見学や川遊びなど、障がい者施設、療育センターを積極的に受け入れるようにしている。	適正(普通) 2点	玄関前の点字ブロックも令和2年度に交換し、館内の配置や動線等ハードにも配慮。打ち合わせを通常より綿密に実施することにより、個の障害を把握し、障がいのある者の受け入れも可能。		
		④備品管理		指定管理者・市・庄内川河川事務所の備品に分けて管理をしている。市の備品調査に合わせて確認を行っている。	適正(普通) 2点	適切に管理している。		
		⑤個人情報保護		イベント中止時の連絡用、コロナ対策として参加者・来館者の氏名、連絡先を管理しているが、必要時のみ使用し目的外利用はしない。また、パスワードのあるパソコンでデータ管理しており、パソコン・データは施設外に持ち出していない。	適正(普通) 2点	適切に管理している。		
		⑥事故等への対応		0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	物損事故1件あり		事故なし・対応に不備なし 0点
3 当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入÷支出＝22,883,477円÷20,830,460円＝109.9%	105%以上 5点	【参考】 令和元年度101.6% 令和2年度135.9% 令和3年度111.6% 令和4年度107.3% 適正に事業が行われている。	5点	
4 より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	イベント参加者等には企画終了時に常に意見を聞き、企画に反映できる点については速やかに実行している。入館者票の記入と併せて来館アンケートもお願いし、職員の対応や館内展示等の意見について職員で共有し改善に努めている。自然団体等の方々からの分野別の貴重な意見も、今後の安全管理を中心に、企画の充実、自然環境保全・復元に反映できるよう積極的に取り組んでいる。イベントの情報発信は、HP、フェイスブック・ツイッター・Instagramの利用に加えて、令和2年度よりLINE(マイタウンとうのう、マイティライン)、令和3年度は中部電力の子育て支援アプリにも情報を掲載した。市外、県外のイベント参加者が増えており、SNSでの広報の成果と思われる。	適正(普通) 7点	イベント時に参加者の意見や感想を収集したり、来館者のアンケートを実施して館内展示や接客などの意見や感想を収集するなど、サービス向上に向けての引き続きの努力を評価。 ホームページ、LINE、フェイスブック・ツイッター・Instagram、子育て支援アプリ等を利用した情報発信による来館者の獲得やニーズの把握にも期待ができる。	7点
		②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	なし	苦情なし・期待以上 5点	なし	5点
	(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	公共機関へのサポートは昨年同様に実施している。積極的に公共事業前の環境調査や保護活動を実施し、公共機関・市民・自然団体のはしご役となり調整を行っている。蓄積されたデータは貴重な資料となっている。 令和4年度から引き続き、大学からの要望により大学生のインターンの受け入れ。受け入れた学生の中には、現在もイベントや河川調査への協力をしてくれている学生もいる。	期待以上 14点	公共機関へのサポートは調査・保護活動以外にも、助言・調整・イベントへの参加を行っている。、令和4年度から引き続き、大学生のインターンシップを受け入れ、次世代の育成を行った。 市民や行政だけではなく、次世代育成のための試みは評価できる。 観察館の運営についても良好に維持できている。	14点
5 その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類は期日までに提出されている。	遅れ・不備なし 減点なし	提出書類は期日までに提出されている。	0点	
	(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	市からの指示に対し適切に対応	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	市からの指示に対し適切に対応	0点	
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下			全体的な評価 令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、イベントもほぼ通常通り行うことができ、入館者数が増加した年となった。昨年度に引き続き、若手の育成として高校生・大学生のサポートに注力し、観察館の講座講師やイベントスタッフとしての参加や、河川調査に協力してもらった。その結果、県外の大学生からも研究の相談をされるようになった。企画は好評で来館者も増え、イベント参加希望者も多い状況である。国・県などの公共機関と市民団体・自然団体の調整役としての役割も大きく、今年度は岐阜県庁から天然記念物に指定されているオオサンショウウオ交雑種の飼育展示の機会をもらい、飼育に挑戦することとなった。また学校の総合学習や地域のふれあい体験を通して地域の子供たちが自然を学ぶための支援や体験活動の充実を図っている。	合計89点 極めて良好